

シシンヨー総合口座プラスカード規定

1. (カードの発行)

シシンヨー総合口座プラスカード(以下「カード」という。)は、シシンヨー総合口座プラス契約(以下「総合口座プラス契約」という。)にもとづき、当組合が発行するものとします。

2. (カードの利用)

カードは、次の場合に利用することができます

- (1) 当組合の現金自動預金機(現金自動預入払出兼用機を言います。以下「預金機」といいます。)を使用して総合口座プラス利用口座への返済または入金(以下「入金」といいます。)をする場合。
- (2) 当組合および当組合がオンライン現金自動支払機の共同利用による現金支払業務を提携した金融機関等(以下「提携先」といいます。)の現金自動支払機(現金自動預入払出兼用機を含みます。以下「支払機」といいます。)を使用して総合口座プラス利用口座からの払戻し(当座貸越を利用した普通預金の払戻しを含みます。以下「出金」といいます。)をする場合。
- (3) 当組合および当組合がオンライン自動振込機の共同利用による振込業務を提携した金融機関(以下「振込提携先」といいます。)の自動振込機(振込を行うことができる現金自動預入払出兼用機を含みます。以下「振込機」といいます。)を使用して振込資金を総合口座プラス利用口座からの振替えにより出金し、振込の依頼をする場合。
- (4) その他当組合の所定の取引をする場合。

3. (預金機による入金)

- (1) 預金機を使用して総合口座プラス利用口座に入金をする場合には、預金機の画面表示等の操作手順に従って、預金機にカードまたは通帳を挿入し、現金を投入してください。
- (2) 預金機による入金は、預金機の機種により当組合所定の種類の紙幣に限ります。また、1回あたりの入金は当組合所定の枚数による金額の範囲内とします。

4. (支払機による出金)

- (1) 支払機を使用して出金をする場合には、支払機の画面表示等の操作手順に従って、支払機にカードを挿入し、届出の暗証および金額を正確に入力してください。この場合、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。
- (2) 支払機による出金は、支払機の機種により当組合または提携先所定の金額単位とし、1回あたりの出金は、当組合または提携先所定の金額の範囲内とします。なお、1日あたりの出金は当組合所定の金額の範囲内とします。
- (3) 支払機を使用して出金をする場合に、払戻請求金額と第5条第1項に規定する自動機利用手数料金額との合計額が出金することのできる金額(当座貸越を利用できる範囲内の金額を含みます。)をこえるときは、その出金はできません。

5. (振込機での総合口座プラス利用口座からの振替えによる振込の依頼)

振込機を使用して振込資金を総合口座プラス利用口座からの振替えにより出金し、振込の依頼をする場合には、振込機の画面表示等の操作手順に従って、振込機にカードを挿入し、届出の暗証その他の所定の事項を正確に入力してください。この場合における出金については、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。

6. (自動機利用手数料等)

- (1) 支払機、預金機または振込機を使用して、出金、入金または振込の資金を総合口座プラス利用口

座からの振替えにより出金し振込の依頼をする場合には、当組合所定の支払機、預金機および振込機、ならびに提携先所定の支払機および振込機の利用に関する手数料(以下「自動機利用手数料」といいます。)をいただきます。

- (2) 自動機利用手数料は、出金、入金、または振込資金を総合口座プラス利用口座からの振替えにより出金し振込の依頼をする時に払戻請求書なしで、その総合口座プラス利用口座から自動的に引落します。なお、提携先の自動機利用手数料は、当組合から提携先に支払います。
- (3) 振込手数料は、振込資金の総合口座プラス利用口座からの振替えによる出金時に払戻請求書なしで、その出金をした総合口座プラス利用口座から自動的に引落します。なお振込提携先の自動機利用手数料および振込手数料は、当組合から振込提携先に支払います。

7. (預金機・支払機・振込機故障時等の取扱い)

- (1) 停電、故障等により預金機による取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、当組合本支店の窓口でカードにより入金をすることができます。
- (2) 停電、故障等により当組合の支払機による取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、当組合が支払機故障時等の取扱いとして定めた金額を限度として当組合本支店の窓口でカードにより出金をすることができます。なお、提携先の窓口では、この取扱いはしません。
- (3) 前項による払戻しを受ける場合には、当組合所定の払戻請求書に署名し、金額および口座番号を記入するとともに、当組合所定の方法により暗証をお申出のうえ、カードとともに提出してください。
- (4) 停電、故障等により振込機による取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、本条第2項および第3項に加え振込依頼書を提出することにより振込の依頼をすることができます。

8. (カードによる入金・出金した金額等の通帳記入)

カードにより入金した金額、出金した金額、自動機利用手数料金額、振込手数料金額の通帳記入は、通帳が当組合の預金機、支払機、振込機もしくは当組合の通帳記帳機で使用された場合または当組合本支店の窓口で提出された場合に行います。また、窓口でカードにより取扱った場合にも同様とします。なお、出金した金額と自動機利用手数料金額は別行で通帳に記入します。

9. (カード・暗証の管理等)

- (1) 当組合は、支払機または振込機の操作の際に使用されたカードが、当組合が本人に交付したカードであること、および入力された暗証と届出の暗証とが一致することを当組合所定の方法により確認のうえ総合口座プラス利用口座から出金を行います。
- (2) カードは他人に使用されないよう保管してください。暗証は生年月日・電話番号等の他人に推測されやすい番号の利用を避け、他人に知られないよう管理してください。カードが、偽造、盗難、紛失等により他人に使用されるおそれが生じた場合または他人に使用されたことを認知した場合には、すみやかに本人から当組合に通知してください。この通知を受けたときは、直ちにカードによる総合口座プラス利用口座からの出金停止の措置を講じます。
- (3) カードの盗難にあった場合には、当組合所定の届出書を当組合に提出してください。

10. (偽造カード等による出金等)

偽造または変造カードによる出金については、本人の故意による場合または当該出金について当組合が善急かつ無過失であって本人に重大な過失があることを当組合が証明した場合を除き、その効力を生じないものとします。

この場合、本人は、当組合所定の冒類を提出し、カードおよび暗証の管理状況、被害状況、警察への

通知状況等について当組合の調査に協力するものとします。

11. (盗難カードによる出金等)

(1) カードの盗難により、他人に当該カードを不正使用され生じた出金については、次の各号のすべてに該当する場合、本人は当組合に対して当該出金にかかる損害(手数料や利息を含みます。)の額に相当する金額の補てんを請求することができます。

- ① カードの盗難に気づいてからすみやかに、当組合への通知が行われていること
- ② 当組合の調査に対し、本人より十分な説明が行われていること
- ③ 当組合に対し、警察署に被害届を提出していることその他の盗難にあったことが推測される事実を確認できるものを示していること

(2) 前項の請求がなされた場合、当該出金が本人の故意による場合を除き、当組合は、当組合への通知が行われた日の 30 日(ただし、当組合に通知することができないやむを得ない事情があることを本人が証明した場合は、30 日にその事情が継続している期間を加えた日数とします。)前の日以降になされた出金にかかる損害(手数料や利息を含みます。)の額に相当する金額(以下「補てん対象額」といいます。)を補てんするものとします。

ただし、当該出金が行われたことについて、当組合が善意かつ無過失であり、かつ、本人に過失があることを当組合が証明した場合には、当組合は補てん対象額の 4 分の 3 に相当する金額を補てんするものとします。

(3) 前 2 項の規定は、第 1 項にかかる当組合への通知が、盗難が行われた日(当該盗難が行われた日が明らかでないときは、当該盗難にかかる盗難カード等を用いて行われた不正な総合口座プラス利用口座からの出金が最初に行われた日。)から、2 年を経過する日後に行われた場合には、適用されないものとします。

(4) 第 2 項の規定にかかわらず、次のいずれかに該当することを当組合が証明した場合には、当組合は補てん責任を負いません。

- ① 当該出金が行われたことについて当組合が善意かつ無過失であり、かつ、次のいずれかに該当する場合
 - A 本人に重大な過失があることを当組合が証明した場合
 - B 本人の配偶者、三親等内の親族、同居の親族、その他の同居人、または家事使用人(家事全般を行っている家政婦など。)によって行われた場合
 - C 本人が、被害状況についての当組合に対する説明において、重要な事項について偽りの説明を行った場合
- ② 戦争、暴動等による著しい社会秩序の混乱に乗じまたはこれに付随してカードが盗難にあった場合

12. (カードの紛失、届出事項の変更等)

カードを紛失した場合または氏名、暗証その他の届出事項に変更があった場合には、直ちに本人から当組合所定の方法により当組合に届出てください。

13. (カードの再発行等)

(1) カードの盗難、紛失等の場合のカードの再発行は、当組合所定の手続きをした後に行います。この場合、相当の期間をおき、また保証人を求めることがあります。

(2) カードを再発行する場合には、当組合所定の再発行手数料をいただきます。

14. (預金機・支払機・振込機への誤入力等)

預金機・支払機・振込機の使用に際し、金額等の誤入力により発生した損害については、当組合は責任を負いません。なお、提携先の支払機および振込提携先の振込機を使用した場合の提携先および振込提携先の責任についても同様とします。

15. (解約、カードの利用停止等)

- (1) 預金口座を解約する場合またはカードの利用を取りやめる場合には、そのカードを当店に返却してください。なお、当組合総合口座取引規定により、預金口座が解約された場合にも同様に返却してください。
- (2) カードの改ざん、不正使用など当組合がカードの利用を不相当と認めた場合には、その利用をお断りすることがあります。この場合、当組合からの請求がありしだい直ちにカードを当店に返却してください。
- (3) 次の場合には、カードの利用を停止することがあります。この場合、当組合の窓口において当組合所定の本人確認書類の提示を受け、当組合が本人であることを確認できたときに停止を解除します。
 - ① 第 16 条に定める規定に違反した場合
 - ② 預金口座に関し、最終の預入れまたは払戻しから当組合が別途表示する一定の期間が経過した場合
 - ③ カードが偽造、盗難、紛失等により不正に使用されるおそれがあると当組合が判断した場合

16. (譲渡、質入れ等の禁止)

カードは譲渡、質入れまたは貸与することはできません。

17. (規定の適用)

この規定に定めない事項については、総合口座プラス契約、シシンヨー総合口座プラス取引規定、総合口座取引規定および振込規定により取扱います。

18. (規定の変更)

- (1) この規定の各条項その他の条件は、金融情勢の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、当組合ウェブサイトへの掲載による公表その他相当の方法で周知することにより、変更できるものとします。
- (2) 前項の変更は、公表等の際に定める適用開始日から適用されるものとします。

以 上

(2023 年 10 月 1 日現在)